

<重点課題>

- 1、法人としての中・長期計画をたてる。緑の家保育園築59年。みどりの丘保育園築34年。  
建物修築計画・保育計画・職員採用・職員研修・地域との連携などは課題が残った。  
地域新聞の発行は、新型コロナ禍で準備ができなかった。来年度はぜひ企画していく。
- 2、大森マンション地権者との賃貸借関係の整理は一步進めた。理事会で地代の値上げを検討して、  
2022年度に大森マンション管理組合に申し入れをし、検討をいただく。
- 2、緑の家保育園は2021年に71周年。みどりの丘保育園は10周年となる。新型コロナ禍後、検討する。
- 3、職員の人材確保については、各園ごとにあらゆる手立てを尽くして行っている。法人全体で取り組む。
- 4、品川保育問題協議会や東京経営研究懇話会の研究等活動に工夫して積極的に参加した。

<決算・運営について>

- 1、本部予算は、基本的には、大森マンション管理組合からの地代収入によって運営している。  
地代についての値上げを申し入れた。
- 2、みどりの丘の中長期計画については、出来なかったもので、2022年度は実施する。
- 3、緑の家保育園では、園庭整備（ゴムチップ）は行った。今後、塀の修築を行う
- 4、予算執行に当たっては、毎月状況をしっかり把握して、改善をはかる。工事契約にあたっては、経理規定に沿って相見積（あいみつ）をした。各園、稟議書も作成している。
- 5、積立会計（保育所施設・設備整備積立会計等）の整備については来年度に行う。

## 2021年度（令和3年度）事業報告書

### 【2021年度方針】

- ① リーダー層の育成・及び長期的な展望を策定していく
- ② マニュアル作りを進めていく
- ③ 職員それぞれの仕事内容や量を把握し、できる限り時間内でできるよう考えていく
- ④ 地域福祉計画における社会福祉法人としての役割と責任を持つ
- ⑤ コロナに対する感染症対策に努め、安心な園運営を心がける
- ⑥ 安全に対する温度を職員がしっかり持つ

### 方針についての反省と課題

- ① リーダー層の育成・及び長期的な展望を策定していく
  - ・キャリアアップ制度が浸透し、リーダーに賃金保証が出来ているのだが、リーダー層の意識がなかなか高まらず、自身で判断してほしい場面で判断できなかつたり、現場でリーダーとしての経験知識を生かし切れていない場面も多くみられた。
  - ・主任と連携を取りながら、意識的に現場に任せる場面を作ってきた。又失敗してもフォローを必ずしてもらえろという経験を重ね、次世代のリーダー層が育ってきている。
  - ・OJT 研修に行くことが今年度も出来ず、意図的、計画的、継続的な人材育成につながっていない
- ② マニュアル作りを進めていく(一定程度の業務がスムーズに継承できるよう)
  - ・今年度もほぼ着手できていない。園内だけでなく法人、外部機関の協力が必要かもしれないと考えている。
- ③ 職員それぞれの仕事内容や量を把握し、出来る限り時間内で出来るよう考えていく
  - ・残業申請を徹底できるようになっており、仕事内容、成果を報告してくれるため、仕事内容の把握とい共に、園として仕事量の削減にも努められるようになった。
  - ・コドモン（ICT）に慣れ、操作の短縮も見られ、やっとICTの恩恵が目に見えるようになった。
  - ・在宅ワーク（コドモン利用）を許可することで、園に残る時間がかかなり短縮され、定時で買える職員がほとんど。残業の際は報告するという形も根付いている。その反面一定の職員が園にずっといる事が常態化しており、他職員からの意見も出ている。声掛けはしているがどこまで・・・と悩んでいる。
  - ・ZOOM をかなり活用できた一年だった。
- ④ 地域福祉計画における社会福祉法人としての役割と責任をもつ
  - ・社会福祉法人としての役割と責任という点においては、具体的に計画できていない現状ではあるが、園見学の際に地域の方の悩みを聞いたりお話をしたりを意識的に心掛けている。
  - ・コロナ禍ではあるが、何が出来るのか法人として相談したい。
- ⑤ コロナに対する感染症対策に努め、安心な園運営を心がける
  - ・消毒回数を増やした
  - ・子ども達への感染症に対する指導、パーテーションを立てての食事（透明のパーテーションにして、表情がお互い見えるようにしている）など、子どもの育ちのところで葛藤しつつも対応している。

- ・玄関前に AI 非接触カメラ式体温測定器を設置し、大人は入室前に体温を測ることを徹底している。(顔と体温が PC に残されるため、万が一のリスクにも備えられるのではと思っている)

- ・感染症対策手当を職員に支給したり、コロナ休暇を制定したことで職員自身も安心して働ける制度を作った。

#### ⑥ 安全に対する温度を職員がしっかり持っていく

- ・事故を起こさないための立ち位置、意識などやはり職員によって差がある現状。

リーダー、主任を交え振り返りや再発防止の会議を持ってきたが、継続に至らない職員がおり今後の課題

- ・安全委員会を発足し、看護師がリーダーとなって毎週土曜日に園内のチェックや報告という流れが出来てきている。しかしその後の改善までに時間がかかるのが今の現状。

#### 保育内容についての反省と課題

- ・職員同士が意見を言い合ったり、難しい場合は主任・園長への相談ということが定着してきている(問題を見ない振りせず向き合う) 保育園の考え方、働き方に自身の意見を言ったり思うことはあるが、同じ場所を目指して【共に】の思いを職員全員が少なからず持ってくれている手ごたえも感じている。

- ・緑の家の保育が正規職員だけでなく非常勤職員にも少しずつ浸透しているのを感じている。
- ・緑の家保育園の保育に関して保護者から意見をもらった際丁寧に話をすることで理解しあえることも多いが、転園を選んだ家庭もあった。(主に保護者同士のトラブル、噛みつきトラブル)
- ・研修に行けず、理論面含め勉強不足の1年となっている。
- ・会議も ZOOM でしか持てず、子ども理解、保護者理解、職員同士理解が心配であったが、ZOOM の活用と報告ノート(コドモン)の活用によりある程度フォローできていた。

#### その他課題

- ・園庭工事が無事完了
- ・社会福法人として地域に貢献する義務があると理解しているが、具体的に計画できずにいる。
- ・事務作業の遅れ、失念が見られた。来年度より計画表を作り、丘・家同じペースで進めていけるようにする。
- ・昨年度の事故の補償内容として決着がつき(お子さん、ご家庭からしたら終わっていないし園としても永久に心に刻む事故である) ※詳細他資料参照

#### 全体的な反省

- ・コロナに対する行政の扱いが日に日に変わり対応に追われる日々であった。
- ・0歳児、3.4.5歳児それぞれ1回ずつ濃厚接触者認定によりクローズとなった。
- ・給食室が全員コロナ感染、濃厚接触者となり封鎖。園で初めての業者発注の弁当となったが、職員の働き掛けもあり子ども達はいつもと違う食事を楽しめている子も多かった。(ただし保育園として金銭の負担大きかった)

## 社会福祉法人 緑の家 みどりの丘保育園

## 〈今年度の方針〉

- 1 ICT化の利便性とアナログを融合し保護者と共有する。
- 2 子どもの人権、権利を理解し子どもの最善の利益を意識した保育を運営する。
- 3 事務処理と働きやすさを法人・職員全体で考え業務の軽減と連動していく。
- 4 HPを更に充実させ保護者や地域に開かれた保育園をめざす。
- 5 施設内の安全対策と園庭整備を職員全体で考える。

## 1. ICT化の利便性とアナログを融合し保護者と共有する。

- ・ 個人の連絡帳・健康記録や午睡のチェック・食事の配信など、保護者と共有できた。
- ・ コロナ陽性になった際の対応では、時間・曜日に関係なく保護者の疑問、質問に応える等大変さはあったが、必要な情報をすぐに配信できた。
- ・ 全ての書類をデータで配信しペーパーレスを計ることができた。

## 2. 主任・リーダーを中心に職員の育成や新入職員の保育を丁寧に見ていく。

## ★人材確保問題

- ・ 新年度職員2名の補充ができないままスタートする。病休5月1名・6月1名・12月1名も重なり7月8月は主任加算・看護師加算を外し保育士としてシフトに入り何とか保育を回す事態になった。
- ・ 人材派遣6～9月にかけて各1名入職したが9月入職の保育士は11月中旬から業務や環境に慣れず病休になり12月末退職となる。職員の育成も十分にできず中途採用者の指導も十分ではなかった。現場では各クラスのリーダーが指導し、全体を主任が把握し、円滑な業務の把握を園長統括して行う必要があった。
- ・ 職員の不安や疲労も重なり人材不足が集団の力・組織力の低下につながった。こんな時だから頑張ろうという団結力も無くもろさを実感した。人材確保は理事会によって全体の職員の退職傾向を統計で出し計画的に進めていくべき重大事項であると思う。今後の重点課題としてあげたい。
- ・ 前期保育反省は東社協保育セミナー「保育教育は何を期待して育まれるのか」をzoomで全員が研修。保育は職員同士の連携、関係性の中で成り立っている、という直近のテーマでとてもよかったと感想に上がっていた。時間を作るのは大変だが共通のテーマで学びあえた事は次につながる研修となった。

- ・ 法人間で交流しながら様々な知識や業務の一致を計る。又 ICT 化による業務の軽減を図り重複する作業をなくしていく。
- ・ 専門職として、感染症対策の知識・対策を講じ常に園全体に周知徹底する。

## 【研修計画・人材育成】

### ★研修を保育に生かす為の保育実践

- ・ 各年齢の発達を学び、関わりが適切であるか振り返り自己研鑽する。子どもが何を求めているか理解し、その思いに寄り添える保育士を育成する。
- ・ 研修を通して職種、クラスを超えて子どもの育ちを学ぶ。

## 2 HP を更新し地域や保護者への情報を積極的に配信する。

- ・ 子どもを真ん中にこれからの行事や保育を可視化していく…行事の録画配信、乳児の日誌の工夫等。
- ・ HP を計画的に更新し、求人情報や魅力ある保育内容を掲載する中で、保育園を知ってもらう。  
(おもちゃの紹介 育児アンケート 子育ての悩み等テーマを決めて発信してみる等)

## 3 施設内の安全対策と防災・災害におけるマニュアルの作成をする。

### 【施設・設備計画・安全対策】

- ・ 共同募金（B 配分）の補助金を利用しクラスの机を整備していく。
- ・ 定期的な植栽の剪定、虫駆除、0・1 歳児の業者による室内清掃、年 1 回放射能測定を行う。
- ・ 台風による水害対策、地震、早朝延長時間帯における避難マニュアル作成等様々な災害マニュアルを作成する。
- ・ 0~2 歳児室のドア、砂場の入れ替え、雨漏り対策等設備をする

## 4 身近な環境から SDGs（持続可能な開発目標）を意識してできる事から実践していく。

- ・ 人権や子どもの権利、ジェンダー、平和の問題や貧困、自然を守る等自分だけではない周りに目を向け考えあう外部研修（zoom）を意識的に持つ。資源を大事にする気持ちに目を向け視野を広げ保育の中で実践できる事を考えあっていく。（電気、水、食品ロス 廃品利用の玩具づくり等）
- ・ 子どもが理解できる教材や身近な保育の中で、具体的に知らせていく。

### ★重要事項について

#### 保育時間の変更提案

- ・ 利用者の激減と働き方の変化を視野に 2023 年度（R5）7：00~19：30の保育時間の変更を 1 年かけて検討していく。
- ・ 職員の健康を守り働き続けられる職場づくりと保育運営の仕組みを一体で考えていく。

5. 施設内の安全対策と園庭整備を職員全体で考える。

- ・ 空調清掃と2Fの設備1部交換し真夏のトラブル対応として30畳対応エアコンを購入した。その事により2F奥が一定の気温を保ち安心できる環境となった。
- ・ 3Fにドアをつけ個室にした。職員面談・研修等に生かす。(給食室の休憩室と併用)
- ・ 砂場枠の整備を行う(砂入れ年2回)は予算を確保できず今年度は見送りとなった。
- ・ 2歳児室押し入れの改装(雨漏り対策も含め)とカビ取りを行った。
- ・ 共同募金(B配分)による保育園駐輪所のペンキ塗り⇒災害用食材等の購入変更
- ・ 床の修繕を中長期計画にのせ補助金などを使用し実現に向け検討をしていく。
- ・ 安全チェック表を基に設備面の定期的なメンテナンスを行う。
- ・ 引き続き放射線測定を年1回測定していく。

★延長保育利用者の比較(コロナ前後) 延長時の体制…正規職員1名⇩有資格者保育1名

2019年度延長保育利用状況

|    | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 1  | 2  | 3  | 合計  |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 補  | 38 | 34 | 33 | 41 | 36 | 58 | 48 | 55 | 28 | 32 | 34 | 34 | 471 |
| 夕  | 32 | 27 | 37 | 40 | 42 | 15 | 28 | 42 | 35 | 34 | 20 | 12 | 364 |
| 合計 | 70 | 61 | 70 | 81 | 78 | 73 | 76 | 97 | 63 | 66 | 54 | 46 | 835 |

2020年度延長保育利用状況…コロナ禍で前半は激減

|    | 4  | 5 | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 1  | 2  | 3  | 合計  |
|----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 補  | 12 | 4 | 9  | 17 | 11 | 19 | 29 | 25 | 31 | 37 | 37 | 32 | 265 |
| 夕  | 0  | 0 | 3  | 2  | 6  | 24 | 18 | 27 | 20 | 18 | 32 | 34 | 187 |
| 合計 | 12 | 4 | 12 | 19 | 17 | 43 | 47 | 52 | 51 | 55 | 69 | 66 | 447 |

2021年延長保育利用状況

|    | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 1  | 2  | 3  | 合計  |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 補  | 27 | 17 | 20 | 25 | 15 | 16 | 42 | 40 | 31 | 22 | 19 | 28 | 302 |
| 夕  | 17 | 8  | 27 | 10 | 14 | 12 | 17 | 20 | 34 | 13 | 10 | 25 | 207 |
| 合計 | 44 | 25 | 47 | 35 | 29 | 28 | 59 | 60 | 65 | 35 | 29 | 53 | 509 |

☆延長利用者が激減し、2022年度においてはコロナ禍と働き方改革により利用者が0名の日があった。